

5-1 東海地方の微小地震の分布 (1990年5月1日～1990年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1, 1990 – Oct. 31, 1990)

名古屋大学 理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1990年5月1日より1990年10月31日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

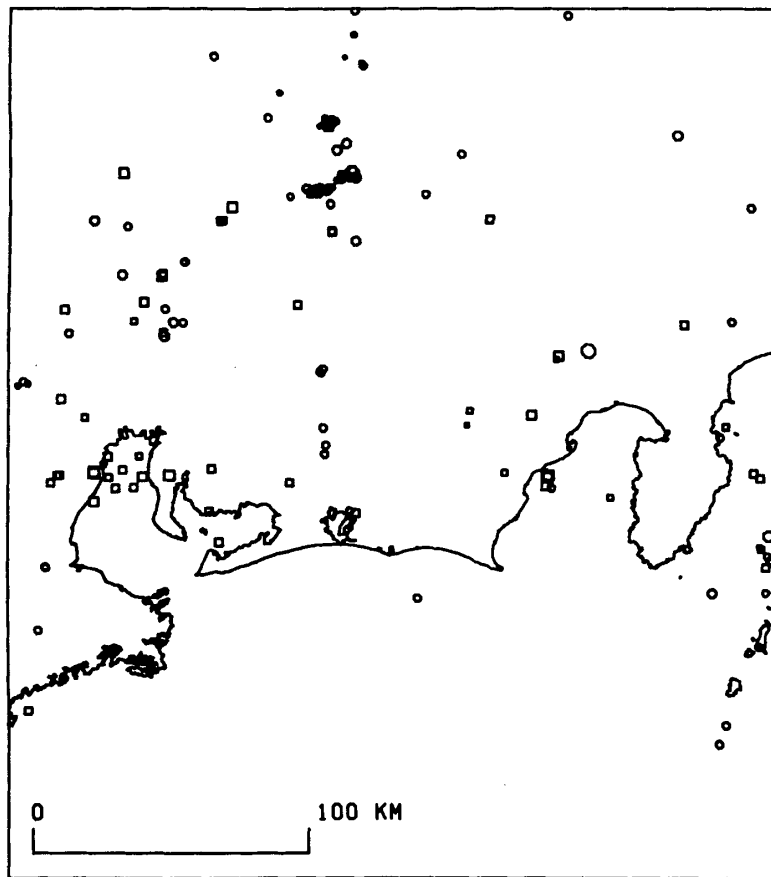
第1図は1990年10月31日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している震央を3ヶ月づつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間の前半は5月30日に駿河湾東部でM3.0とM3.1の地震が発生したが愛知県、静岡県の上部地殻内の地震活動は静穏であった。
- (2) 長野県西部地域の地震活動はほぼ定常的であるが5月12日M3.4、5月21日M4.3、8月6日M4.2等の地震が発生している。
- (3) 乗鞍岳南西部の群発地震活動域では5月7日M3.0、5月11日M3.4等の地震が発生し活動的であったが、後次第に静穏化している。
- (4) この期間後半から特に東海地方海域の南海トラフに沿った地域で地震活動が活発となり図には載っていないが駿河湾の南沖で9月24日にM6.6とM6.0の地震が発生しほぼ1カ月にわたって余震活動が見られた。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1989年11月1日～1990年4月30日)，連絡会報，**44**，(1990)，222-224.

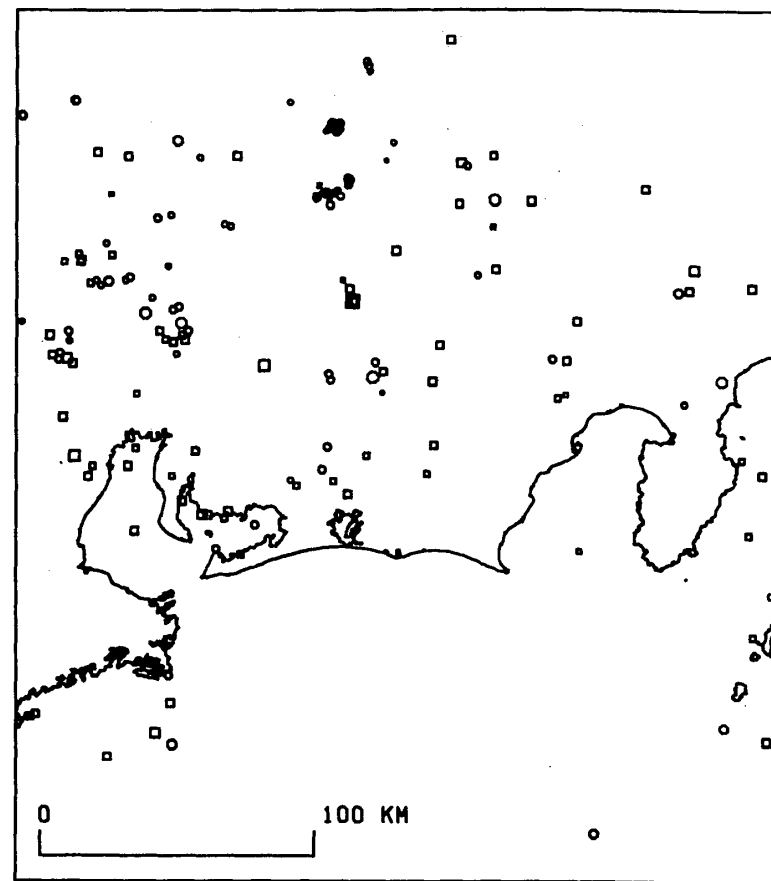


N = 182

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1990 5 1 - 1990 7 31



N = 187

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

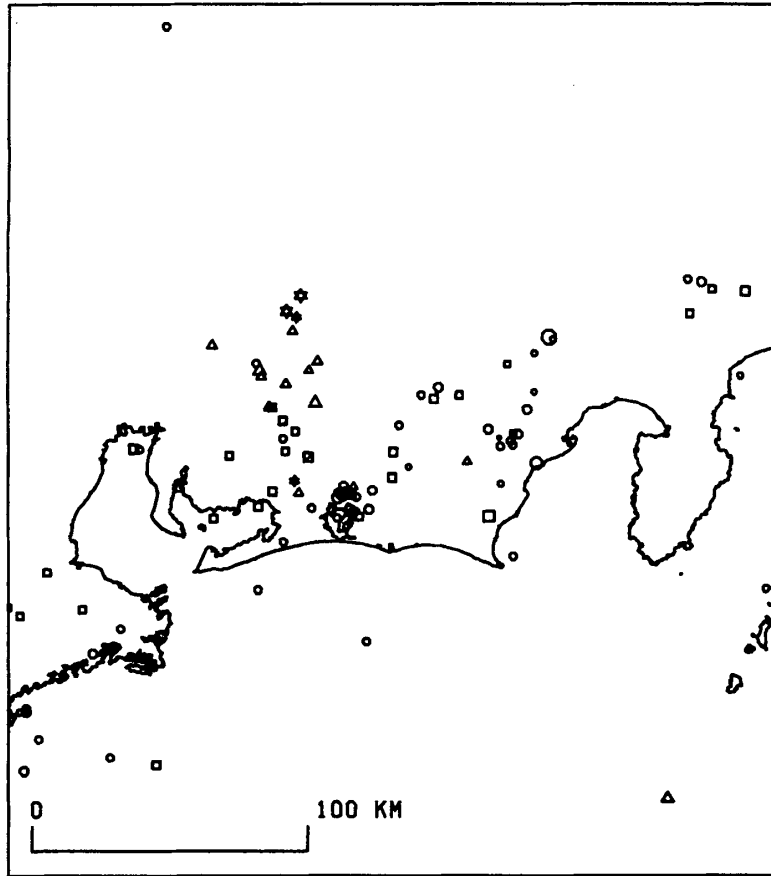
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1990 8 1 - 1990 10 31

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1990年5月1日~1990年10月31日) 震源の深さが20km以浅のもの

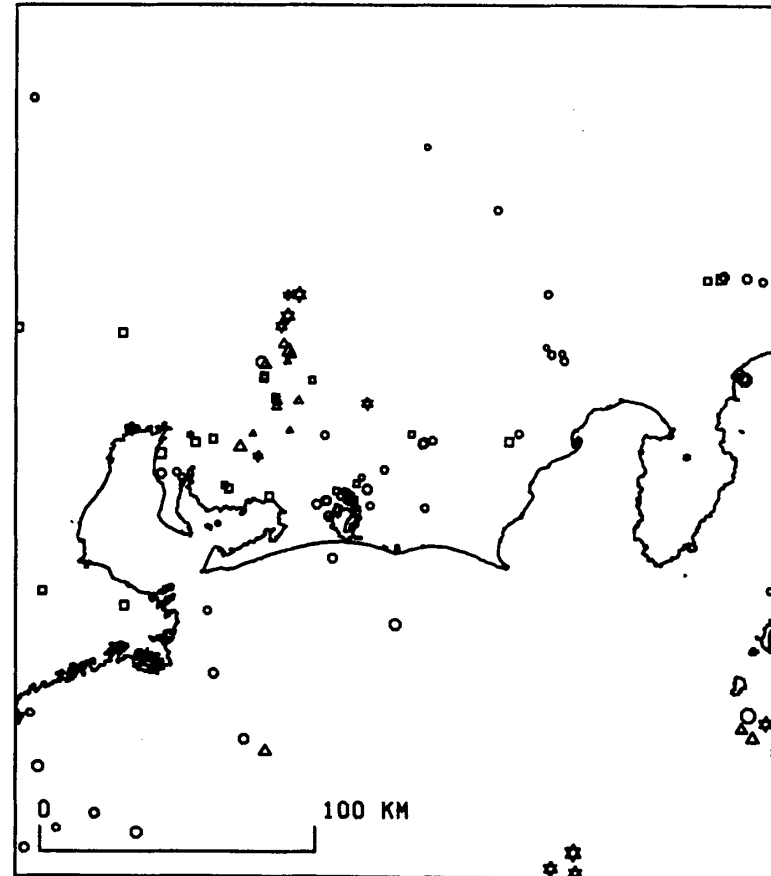
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1990 - Oct. 31, 1990) shallower than 20 km.



N = 107

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1990 5 1 - 1990 7 31



N = 113

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1990 8 1 - 1990 10 31

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1990年5月1日~1990年10月31日) 震源の深さが20kmから80kmのもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1990 - Oct. 31, 1990) deeper than 20 km.